






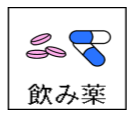



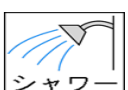

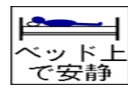




全身麻酔で頸部の手術を受けられる患者様へ

患者氏名： \_\_\_\_\_ 様

- ・入院期間は変更があることもあります。
- ・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させていただきます。

経過	1日目	2日目		3日目	4~5日目	6日目~退院日
日時	手術前日( / )	手術当日( / )手術前	手術当日( / )手術後	手術翌日( / )	術後2日目~3日目	術後4日目~退院日
目標	医師、看護師の説明を受け、手術に安心して臨むことができる	安全に手術が受けられるよう準備ができる	苦痛が緩和され重篤な合併症をおこさない		手術前の日常生活に近づけ、退院に臨める	不安なく退院できる
検査		<b>手術室入室予定時間</b> ( : )	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します			
治療			  術後翌日朝まで点滴を続けます。	朝まで点滴を続け、終了後針を抜きます。抗生剤・痛み止めを内服します。		術後の傷の状態を見て、退院日調整します。 
説明・観察	看護師が、これまでにかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。 <b>現在内服中のお薬は、お薬の説明書と共に忘れずにご持参ください。手術に備え、和式の寝巻き1枚、T字帯1枚、バスタオル1枚、印鑑をご用意ください。</b> 氏名確認のためのリストバンドをつけていただきます。  	主治医より夕方(16時頃)に手術の説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき、同意書をお渡しします。 必要事項を記入し、手術前日までに看護師にお渡しください。 麻酔科医による診察があります。	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予め、はずしておいてください。 義歯は必ず必要はありませんが、看護師までお知らせください。 手術当日の朝の内服薬については入院後に説明します。 	手術前に飲んでいた内服薬の再開について説明します。 		退院時、次回外来受診日をお伝えします。  看護師より退院後の日常生活について説明があります。
処置			傷口に溜まった液を出す管(排液バッグ)が入ってきます。	平日は毎日診察があります。	排液バッグは2~3日で抜けます。	
清潔	 シャワー室( ) ( : )			タオルで体を拭きます。 	排液バッグが入っている間は首から下のシャワー浴ができません。排液バッグが抜ければ創部を保護して全身シャワー浴ができます。	
活動			弾性ストッキングを履きます。歩いて手術室に行きます。	ベッド上での排泄となります。尿の管が入ってきます。 	朝に尿の管を抜きます。血圧などの測定後、歩行可能になります。弾性ストッキングを脱ぎます。 	
食事		手術前の夕食まで食事をとってください。	手術当日の食事は禁止です。※飲水量は麻酔科医より指示があります。	禁飲食です。うがいは看護師介助で行います。	朝から食事が開始します。 